

令和6年度 西町小学力向上プラン

～生き生きのびのび西町っ子～

【長崎市第5次総合計画 ～R12年度】
基本施策G1「長崎のまちを愛し、新たな時代を
生き抜く子どもを育みます」

(2025年にめざす姿)

「子どもが長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に
対応しながら新たな時代を強く生き抜く力を身に着け
ている」

G1-1「『確かな学力』の向上を図ります」

G1-2「健やかな心と体を育成します」

G1-3「家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります」

G1-4「安全・安心に学べる教育環境を整備します」

【児童の実態】

生活面	・早寝・早起き、あいさつ、後片づけ、廊下歩行など、基本的な生活習慣に課題を抱えている。 ・単語での応答が多く見られ、言葉をつないで話す積み重ねが必要である。
学習面	(令和6年度学力調査から) ・国語科は概ね平均程度まで上昇してきた。 算数科に課題があることが浮き彫りになってきた。 ・問題の意図を正確に読み取れない。 ・複数の情報を関連付けて考えることが苦手である。 ・目的や条件に応じた文章を書く経験の積み重ねが不足している。

教育目標 「心豊かで実践力のある心身ともに健康な子の育成」

めざす学校像

- 活気にあふれ「生き生きとした学校」
- 明るい笑顔で思いやりのある「さわやかな学校」
- たかましい心と体を育てる「力強い学校」

めざす児童像

- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども
- 健康でたかましい子ども

めざす職員像

- 自ら研修に励み、自己を磨く職員
- いつも子どもと在り、温かく子どもと接する職員
- 協調性と実践力を備えた職員

「本物」にするための「本気の協育」

＜令和6年度重点努力目標から＞

- 「学びに向かう力」を身に付けた子どもの育成
・授業づくりを基盤とした校内研修の充実
- 学びを深めるための「基礎基本」を身に付けた子どもの育成
・特別支援教育の充実
- 自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる子どもの育成
・学習規律の徹底と支持的風土の醸成

全国・県・市の学力調査の活用サイクル

- (4月) 全国・県・市学力調査実施
(直前に過去問実施と解説)
- (7月) 課題確認と学力向上プランの見直し
- (8月) 夏季休業中：学力テスト結果分析
(9～11月) チャレンジ授業（研究授業）・座談会期間
- (12月) 校内学力テスト実施
冬季休業中：校内学力テストの採点と分析
課題の提示による学習内容の定着
- (1月) 校内学力テストの課題点の補充
- (2月) チャレンジタイム等での検証問題の活用
- (3月) 学年末休業中：課題提示による学習内容の定着

令和5年度

授業改善の時間（校内研修）

令和6年度

本気で学びに向かう子どもの育成を目指す

- ・全学級担任は、1人1回、チャレンジ授業（研究授業）を公開する。
- ・単元のゴールや今日の活動を確認し、見通しを持たせる。
- ・授業に動きを取り入れることで、全員を学びの土俵に乗せる。
- ・ICTを活用し、学びへの意欲を高める。

本気で書くことができる子どもの育成を目指す

- ・「作文」に対する定期的な意識調査。（作文が好きなか。等）
- ・低中高等学校で3本のチャレンジ授業（研究授業）を実施。部員全員で1つの授業を作り上げる。
- ・「本気で書くこと」とは、目的や課題を理解し、見通しをもって書こうとしている姿や、学年の発達相応の①時間②字数③条件を伴って書いている姿。
- ・どの教科でも「書く場面」を取り入れる。
- ・算数科についても、Cubena等を活用し、補充する。

学習規律(そろえる)

- ①「黙想」の取組
- ②西町小「学びのスタンダード」の徹底
(話し方・聞き方、筆箱の中身、授業の準備)
- ③チャレンジタイムの計画的・継続的な取組
- ④家庭学習習慣の定着
(家庭との連携)(自主学習の指導)(家庭学習のきまり)

学びを支える生活規律

3つの「あ」を本物にする。

- ・あいさつ(時と場合を考えた気持ちの良い挨拶)
- ・歩き方(時と場合を考えた廊下歩行、給食列車)
- ・後片付け
(クリーンタイム、掃除の仕方の統一、履物揃え)